



# くまちゃんつうしん

H27年4月1日発行



## みんなで仲良く

以前もご紹介しましたが、つばさ生活介護事業ではものづくりと題して様々な作品を作っています。今回ご紹介するのは立体的な作品です。一つ一つ画用紙を“くるくる”っと丸めたパーツをひとつずつ貼り合わせていきます。

携わっているご利用者は昼休憩時もしくはいつの間にか“くるくる”っとパーツ作り。コツコツと積み重ねてできたのが写真のようになります。一見すると完成までかなり長い道のりのように見えるのですが、スタッフもちょっと一緒にやってみたところ、これが意外とはまってしまうのです！  
 ついついくるくと丸めては貼り付け、まるめては貼り付け……。あれこれご利用者と話すうちに、あっという間に時間が過ぎてしまいました。なかなか楽しい作業です。あまりに熱中してしまい、肩が凝ってしまうのが難点でしょうか。

今回のテーマは有名な絵本の「はらぺこあおむし」の2場面です。初めての挑戦でしたが、結構うまく作れましたので、次回はもう少しレベルアップしたもので、皆さんからの希望を集めた「あの」作品を作ってみようと思います！乞うご期待！



## 防災訓練に参加してきました。

自治会の防災訓練に参加してきました。

先日グループホームの所在する自治会で防災訓練が実施されました。グループホームからはご利用者1名と職員1名の2名で参加してきました。今回の訓練で、地域の方たちと一緒に防災訓練に参加させていただき、「消火器の使い方」「給水車からの水の受け取り方」「煙体験」「天ぷら火災での消火体験」を見て・感じて・体感してきました。

この訓練で体験して、いろいろと驚いたことがありました。まず消火器に関しては、いざ使う時がくるまで実際にどんな噴射の仕方をするのか、想像でしかわかりませんでした。実際に使用してみると、噴射した粉はレバーから手



を離しても、最後まで出続けるということです。そしてその噴出量が思いのほか多かったです。もしこれが狭い部屋などの空間で使うとなると、たちまち回りが見えなくなり、退路を見失ってしまいます。必ず退路を確認しつつ、消火活動にあたるのが大切であることを痛感いたしました。また、消火器の能力で消せる炎は、初期の段階に限られるため、初期消火と呼ばれるそうです。火の手が壁を伝って天井まで伸びてる場合などは無理に消そうとせず、脱出することが大切であると教えていただきました。初期消火できそうな場合は、火種に向けて、手前からホウキでゴミを掃くように地面に向けて使うそうです。火事場から逃げる際も、なるべく腰を低く、ハンカチなどで煙を吸わないようにすることが大切であると教えられました。火事場の煙は大変高温であることが多く、その煙を吸ってしまうと肺がやられてしまうそうです。ほかにも絶対してはいけないことですが、てんぷら油に火をかけたまま離れてしまったりして、火の手が上がってしまったときの対処法なども教えていただきました。この場合はすぐに火を止め、濡らしたバスタオルなどをかぶせて初期消火するようです。万が一水などをかけてしまうと、油が火種になり、水が跳ねてしまい火の手が広がってしまうので、絶対にしてはいけないと教えていただきました。

災害は起こってほしくないですが、1人の力では限界があります。今回の防災訓練で学んだことを少しでも生かせるようにしていきたいと、強く感じた訓練でした。

2015

4

## 予 定 表

1日(水) 色ワーク

3日(金) オーラルケア

4日(土) ダイアナV r

8日(水) 歌体操

9日(木) ハッピーブレイン体操

10日(金) オーラルケア

11日(土) イエローシート

14日(火) 茶道クラブ

17日(金) オーラルケア

24日(金) 避難訓練

26日(日) 自治会

28日(火) ヨーガ

発行所：社会福祉法人 和光福祉会

発行人：平川 輝子 編集人：北村 友隆

TEL : 072-453-5655  
FAX : 072-452-9151

E-mail : [press@kumacyan.org](mailto:press@kumacyan.org)

HP : <http://www.kumacyan.org/press.php> (カラーも見れます!)